

日韓台における有機農産物の フードシステムに関する国際比較

【日時】 令和5年12月4日（月） 10:40～15:00

【会場】 日本大学生物資源科学部 221講義室（2号館2階）

【対象】 学生，教職員，一般



写真：興大有機農夫市集16周年記念式典[2023年9月・台湾国立中興大学]

10:40-10:45 開会挨拶 栗原 伸治（日本大学生物資源科学部教授・国際地域研究所所長）

10:45-11:00 座長課題 川手 督也（日本大学生物資源科学部教授）

11:00-11:20 講演 1 島村 聡子（パルシステム神奈川総合福祉推進室・元常任理事）

「生協パルシステムの食からひろがるサステナブル」

11:20-12:00 講演 2 楊 上禾（台湾国立中興大学教授）

「Trends and Policy of Organic Agriculture in Taiwan」

12:00-12:10 コメント 棕田 瑛梨佳（農研機構研究員）

12:10-13:00 休憩

13:00-13:20 講演 3 佐藤 奨平（日本大学生物資源科学部専任講師）

「台湾における多様な小売業による有機食品のフードシステム形成と課題」

13:20-13:40 講演 4 魏 台錫（韓国農村振興庁課長）

「韓国における農産物流通の動向と親環境農産物の位置づけ」

13:40-14:00 講演 5 李 裕敬（日本大学生物資源科学部専任講師）

「韓国における学校給食への親環境農産物の供給の実際と意義」

14:00-14:10 総括コメント 高橋 巖（日本大学生物資源科学部教授）

14:10-14:55 総合討論

14:55-15:00 閉会挨拶 川手 督也（日本大学生物資源科学部教授）

